



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信



E・N・S通信



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
Saitama Center for Climate Change Actions



Index

表紙寄稿：吉田 誠氏
(経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進課長)
令和5年度通常総会終了
令和5年度事業紹介
推進員活動紹介
事務局からのお知らせ



カーボンニュートラルと地域企業の対応

経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進課長 吉田 誠

世界各国が脱炭素化に向けた取組を進める中、我が国も例外ではなく、化石エネルギー中心の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へと転換していくグリーントランスフォーメーション（GX）に国全体で取り組んでいく必要があります。その実現に向けた基本方針が本年2月10日に閣議決定され、基本方針を実行するためのGX関連法についても本年5月に成立したところです。その中では、徹底した省エネに加え、再生可能エネルギーの最大限の活用といったエネルギー自給率の向上に資する脱炭素電源への転換、「GX経済移行債」を活用した大胆な先行投資支援を講ずることが示されています。中小企業は日本全体の温室効果ガス排出量のうち約2割程度を占めており、2050年カーボンニュートラルの実現に向けては中小企業のGX取り組みも不可欠となります。また、中小企業の新たな技術・サービスによる「削減貢献」も期待されています。関東経済産業局では、中小企業の取組をサポートする支援機関との連携を強化するとともに、カーボンニュートラルに伴う事業環境の変化などの情報を的確にお届けしつつ、地域企業に寄り添いながら、皆様の取組を応援してまいります。





令和5年度特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉の通常総会を開催しました！

当団体は、6月18日（日）、令和5年度通常総会を大宮ソニックシティで開催しました。記念講演も併せて開催し、オンラインとの併用により多くの方に参加いただきました。総会での審議事項は、令和4年度活動報告案と活動決算案、令和5年度活動計画案と活動予算案、及び定款変更案でした。すべての審議事項は全員異議なく原案どおり承認可決されました。

令和5年度の事業は、環境省の補助事業「地域における地球温暖化防止活動促進事業」を活用し、温暖化防止センター活動をとおして県民へCO₂削減への意識啓発を行います。また、埼玉県地球温暖化防止活動推進員研修会の開催、「住宅設備の省エネ化」のための補助窓口業務を始めとした省エネ・再エネの普及啓発等を行います。さらに、「地域省エネプラットフォーム構築事業」、県の「省エネナビゲーター事業」との連携を図り、中小事業者の脱炭素経営への伴走支援を行い、取組を支援・後押しします。

2050年カーボンゼロ社会を目指し、埼玉県内の地球温暖化防止活動推進員、民間団体、事業者、市町村と連携し、地域脱炭素社会への実現に向かって取組を加速化する予定です。



星野代表理事挨拶



埼玉県温暖化対策課長挨拶

記念講演会を開催しました

総会を記念し、芝浦工業大学副学長・システム理工学部環境システム学科教授である「磐田朋子」先生に会場へお越しいただき、「脱炭素は地域や暮らしをどう豊かにするのか？」というテーマでお話をいただきました。暮らしの質を落とさず豊かに暮らすためには、脱炭素にどう向かえばいいのか、いくつかの観点から解説いただきました。

脱炭素を目指す中で、生活の満足度を落とさずエネルギー使用を減らすためには、供給側におけるエネルギー源の脱炭素化が必要であり、再生可能エネルギー導入の拡大が望まれる。さらに、GXやIT技術を駆使した低炭素型の社会インフラを整えることも重要である。一方、需要側としては、ライフスタイルの選択は個々の意思ではありますが、従来型の努力の省エネでは暮らしの満足度にはつながらない。高効率の設備機器の導入や再生可能エネルギーの導入が望まれるというお話でした。



私たちの暮らしの中において脱炭素に向かうための

取組選択肢は様々ありますが、これからは消費や投資等の在り方を変えていく必要もあるのだと実感しました。

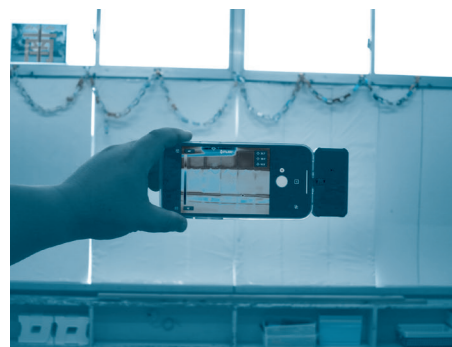


磐田朋子先生



断熱改修ワークショップを開催しました！

今年の夏は大変暑い夏でした。熱中症予防のためにもエアコン使用は必須です。ただ、躯体の断熱が施されていないと、熱が窓や天井から入り、エアコンの効きが悪くなります。エアコンの設定温度を下げると、電気の使用量が増えてしまい、二酸化炭素の排出量も大きくなります。そこで、エアコンを効率的に使うためには躯体の断熱が必要になります。今年度、当センターとしては、家庭でも手軽で安価にできる断熱対策について、ノウハウ等を含めた情報発信に力を入れていく予定です。今年度初の試みとして、8月26日（土）さいたま市大宮小学校で断熱改修ワークショップを開催しました。“身近にできるエコで健康に暮らせる断熱改修”と題し、小学校関係者や地域の住民、関心のある方に集まってもらい、東京大学准教授「前真之」先生から断熱についてお話をいただいたあと、窓の断熱パネルを皆で作成しました。現在、建物が古い小中学校は、断熱が施されておらず、生徒達は暑い中で勉強をしています。大宮小学校では、暑さを少しでも解消しようと、アルミのレジャーマット等を使って窓の断熱パネルを作成しました。取り外しが簡単にでき、また寒い冬の時期にも使えます。このように、家庭でも手軽に窓の断熱に取り組んでいただき、冷暖房の効率を上げることで電気の使用量を削減し、地球温暖化防止に貢献して欲しいと期待しています。



若者脱炭素ワークショップを開催中

「第5回SDGsエコフォーラム in 埼玉」（詳細はHPを参照）開催を予定していますが、例年どおり分科会「若者と脱炭素ワークショップ」を今年度も実施します。

当日の分科会に向けて企画や準備等から関わっていただける学生さんを募集したところ、多くの大学から学生さんにエントリーをいただきました。その学生さん達をコアメンバーと称し、ワークショップをとおして学習、企画や準備を進めてもらっています。若者の視点で、これからの脱炭素なライフスタイルをどう提案していくのか、フォーラム当日は多くの若者との議論を楽しんでみてください。



エコライフDAY & WEEK SAITAMAのWebサイトが一新されました

埼玉県エコライフDAY&WEEKは、簡単なチェックシートを利用してエコライフを体験し、削減できた二酸化炭素量が計算できる取組です。地球温暖化防止のため、ライフスタイルを見直すきっかけにしたいと思っています。今年度は、オンライン参加となっており、新たにWebサイトが出来ました。エコライフDAY & WEEKへ個人、団体等多くの方の参加をお待ちしています。<https://ecolife-saitama.jp/>





中小事業者向け省エネ&脱炭素経営支援を実施中

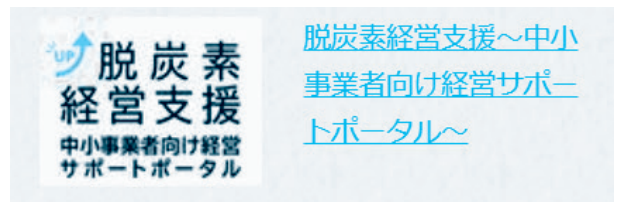
今年度も、「埼玉県省エネナビゲーター事業」及び経産省の補助事業「地域省エネプラットフォーム構築事業省エネお助け隊」を活用し、埼玉県内の中小事業者を対象に省エネ診断とその支援、さらに省エネお助け隊では、茨城県内の事業所へも省エネ支援を行っています。最近のエネルギー高騰に伴い、省エネ診断の問い合わせが増えています。また、2050年の脱炭素に向かい、中小事業者にとっても脱炭素への取組に関心が高まっています。



当団体は、主に省エネ診断や脱炭素経営アドバイス等、専門家を派遣し具体的な支援を行っています。さらに、セミナー等をとおした情報提供も行い周知啓発にも力を入れています。脱炭素経営には、何から取り組んだら良いのか、どんなことをすれば良いのか、そのメリットは、支援策は等、疑問の多い中で当団体は常時相談対応を行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。

また、専用サイトもHP上にアップしていますのでご覧ください。

<https://www.kannet-sai.org/scnp/>



家庭の省エネ相談会開催中

埼玉県と一緒に、ご家庭のエネルギーの節約・省エネを応援するため、イベントやショッピングモール等において、各家庭の状況に合わせた省エネのアドバイスを行う「埼玉県家庭の省エネ相談会」を実施しています。今、光熱費が高騰し家計を圧迫しています。省エネの取組は、家計に優しいばかりでなく、地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素の排出削減にも繋がるのが期待されます。ぜひ多くの方に、イベント会場に足を運んでいただき、具体的な省エネ方法を学び、ご家庭で実践していただくことを期待しています。



開催予定 ぜひお立ち寄りください！

10/7 [土] そごう大宮店 3階

11/4 [土] そうか環境とくらしフェア@アコスホール

11/5 [日] とだ環境フェア 2023

@上戸田地域交流センターあいパル

11/11 [土] パルシステム商品展示会

@さいたまスーパーアリーナ

11/14 [火] 県庁オープンデー

@埼玉県庁 第三庁舎分室 (予定)

11/18 [土] 埼玉県省エネ住宅フェア

@さいたま新都心駅東西自由通路

11/26 [日] 秋のエコロまつり

@所沢市リサイクルふれあい館

12/16 [土] ララ MEETS EVENT

@ララガーデン春日部



埼玉打ち水の輪2023を終了しました

今年も「埼玉打ち水の環 2023」を実施しました。7/1（土）～8/31（木）の期間に各自、各団体が打ち水を実施した結果を発信し、ネットワークを広げていただく取組です。今年度から SNS を活用した投稿方法に変更しました！期間中、多くの皆様から、地域や会社、学校、ご家庭などから、打ち水を実施した様子を Facebook に寄せていただきました。報告数 17 件、参加総数 900 人という結果になりました。

<https://www.kannet-sai.org/coolchoice/activity/2023/uchimizu2023.html> をご覧ください。

暑い夏はエアコンに頼りがちですが、昔の生活の工夫を今に活かして、エコライフを楽しみながら省エネに取り組んでいただきたいです。



推進員活動紹介

今回は、「國井範彰」さんの活動をご紹介します。國井さんは、退職後、環境活動をおし地域で社会貢献を活発にされています。特に、ご自宅に太陽光発電を設置したことにより、NPO 法人太陽光発電所ネットワークの活動が始まり、現在は太陽光発電の専門家として、普及啓発や相談対応等で多くの方から頼りにされています。

2008 年からは埼玉県地球温暖化防止活動推進員として活動をスタートし、当団体主催のセミナーや講座にも講師として登壇いただいたり、うちエコ診断士としても活躍いただいています。お住まいの行田市では、行田環境市民フォーラムの主力メンバーとして、市内小学校で環境出前学習を行っています。2008 年に市内 1 校から始めた取組が、今年は 12 校中 11 校までになったとのことです。さらに、公開学習会も年 2～3 回の割合で開催しています。スタートは活動メンバーの勉強が目的でしたが、同じやるなら市民にもと広く公開しています。今年は 40 回目を迎えるそうです。メンバーの高齢化が課題とのことでしたが、受講した小学生から感想をもらおうと元気が出て活動の励みとなるとのことです。これからも頑張ってください！



小学校での環境学習



非常用太陽光独立電源製作ワークショップ





事務局からのお知らせ



第5回SDGsエコフォーラムin埼玉 開催予告

日時 令和5年12月2日(土) 10:00～16:30

場所 十文字学園女子大学、オンライン

内容 ・午前の部

基調講演 「栄養の持続可能性という見方で、SDGs エコをながめてみよう」

志村 二三夫氏 十文字学園女子大学 学長

高校生 SDGs スピーチ

埼玉県エコアップ認証事業所表彰式

・午後の部

分科会 (持続可能な食を考える、生物多様性保全と地域の保護活動、子どもの未来と省エネ、生きることの豊かさへのポジティブマインドセットを考える、若者が創造する脱炭素な未来)

表紙の説明

コウホネは、スイレン科コウホネ属に属する水草の1種です、日本固有種ともされ、北海道から九州の浅い池や沼に生育します。近年、河川改修、圃場整理などによって激減し、地域によっては絶滅危惧種に指定されています。埼玉県・東京都・神奈川県では、最も危惧度の高いカテゴリを示しています。



COOLCHOICE からデコ活へ

2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」が始まりました。デコ活とは、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を意味する"活"を組み合わせた造語です。

詳しくは、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/> をご覧ください。



編集・発行

発行日 2023年9月30日

特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉／埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218

<https://kannet-sai.org/>

開館日・時間 平日9時～17時

活動へのご支援やご寄付をお待ちしています

